

تَقْوَىٰ たくワー

—アッラーをおそれるところ—

たくワーとは、アッラーをおそれるところのことです。

アッラーをおそれるとは、だれもみていなくても、アッラーがみておられるということ、いしきするところです。

そこにだれもいなくても、だれもみていなくても、アッラーのよろこばれることをする、そして、アッラーのおきらいになることをしない。

それがたくワーです。

むかし、ムスリムのリーダー（カリフ）だったウマルさま(ラディ イッラーフ アフ)に、あるおとこがたずねました。

「たくワーとは、なんですか？」

ウマルさまがこたえました。

「あなたは、いままで、とげをもった木がたくさんあるばしょをとおったことがありますか？」

「はい。」

「そのとき、どうしましたか？」

「できるだけ、とげにさわらないように、きをつけて、とりました。」



「それが、たくワーです。わたしたちは、とげにさわらないよう、きをつけるのとおなじように、わるいことをしないように、できるかぎり、きをつけます。わるいこと（つみ）は、アッラーをかなしませ、じぶんをきずつけるからです。」

たくワーをじっせんするひとたちのことを、ムッタキーンといいます。

クルアーンのことば



إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ الْمُتَّقِينَ

インナッラーハ ユヒツフ ル ムッタキーン

ほんとうに、アッラーは、アッラーをおそれるひとを、あいされます。

(タウバしよう 9:4)